

「ふるさとふくしま応援寄附金」の受入実績と使途について

平成24年度の「ふるさとふくしま応援寄附金」（ふるさと納税）の受入額とその使途は下記のとおりです。

記

1 寄附金の実績

寄附件数 1,817件
寄附金額 146,628,062円

なお、お申込時に希望された寄附金の「使いみち」の内訳は下の表のとおりです。

項目	件数	金額(円)
① 自然環境の保全	79	1,900,600
② 次世代育成支援	217	12,950,600
③ 本県の活力増進	177	13,015,355
④ おまかせ(災害復旧・復興のための事業)	1,344	118,761,507
合計	1,817	146,628,062

2 寄附金の活用状況

下記の事業に充当させていただきました。

① 自然環境の保全

・尾瀬歩道整備事業

尾瀬ヶ原と三条の滝を結ぶ「尾瀬ヶ原三条の滝線」の荒廃が著しいことから、尾瀬のすばらしい風致景観の維持と利用者の安全と利便性の向上を図るため、木道等の施設を整備しました。



・県営林の保育管理事業

森林資源の充実を図り、県土の保全及び水源かん養機能等の森林の持つ公益的機能の維持・推進のため、保育管理を実施しました。



・内水面漁業被害防止対策事業

内水面漁場における漁場環境変化の把握、漁業被害対策への効果を検証しました。また、カワウ、外来魚等による漁業被害対策への支援を行いました。



②次世代育成支援

・21世紀ふくしま文化担い手育成事業

子どもたちの文化芸術活動への積極的な参画のため、文学、音楽などそれぞれの分野における講座「ふくしま文化少年倶楽部」を開催したほか、子どもを中心として受け継がれている優れた伝統芸能を次代に受け継ぐため「伝統芸能交流会」を行いました。



・子育て応援パスポート事業

18歳までの子どもを持つ世帯を応援するため、協賛店の協力により、各種サービスを受けられるカード（ファミたんカード）を交付し、利用者の利便性を向上させるため、事業の周知を図るとともに、さらに協賛店舗数を拡大しました。



・学力向上推進支援事業

小中学校においては、指導改善に資する評価問題を作成し、活用を図るとともに、学習習慣、生活習慣の確立に取り組みました。また、県独自の学力調査を実施し、状況を把握して、これまでの課題である算数・数学を学ぶ環境を整え学力向上を図りました。高等学校においては、生徒一人一人の進路希望実現を目指した各学校の確かな学力向上への取組や各学校の難関大学を目指す生徒が一堂に会しての学習合宿などを実施しました。



・キャリア教育推進事業

農業高校における地元特産品を活用したオリジナル商品開発に向けた取組みや工業高校における地域企業の熟練技能士等を活用した実習及び小・中学生の専門高校体験や高校生による小・中学生への実技指導などを行いました。



③本県の活力増進

・地域づくり総合支援事業

地域住民や地域団体などによる地域活性化支援を行いました。特に、東日本大震災を踏まえ、復興関連の取組を最優先とし、県産品のPR事業や避難者と住民との交流イベント、復興関連の情報発信事業などを実施しました。



・「陸上王国福島」基盤整備事業

本県が誇る駅伝や福島大学の陸上競技などの財産をさらに大きく伸ばし、「陸上王国福島」の確立を目指しました。



・八重洲観光交流館管理運営事業

本県の総合的な情報発信拠点である「八重洲観光交流館」において、県内各観光地の案内、PR を実施するため、農林水産物や地酒等の特産物、民芸品の県産品を展示、紹介、販売するとともに、県内市町村や観光団体等と連携の上、恒常的な催事等の企画により来場者の確保を図るなど、積極的な情報発信を実施しました。



・首都圏アンテナショップ事業

県産品の新たな商品開発や販売戦略の構築を図るため、首都圏アンテナショップ「ふくしま市場」の運営及び販売促進事業を実施しました。



・漁業調査指導事業

本県水産業の振興を図るため、資源管理に必要な調査研究を実施しました。



④おまかせ(災害復旧・復興のための事業)

・道路の改修等

道幅が狭い箇所を解消を行いました。これにより、大型車の安全なすれ違いが可能となり、物流の効率化が進みました。

